

第 43 回 宇宙航空研究開発機構 動物実験委員会
議事録

開催日：2019年9月3日（火）14：00～15：30

場所：連合会館 405 会議室

出席委員：8名（うち、実験動物識見者3名、動物実験識見者3名、学識経験者2名）

オブザーバー：2名

事務局：7名

配布資料

- 【動実 43-1】 前回議事録
- 【動実 43-2】 第 42 回委員会フォローアップ一覧
- 【動実 43-3】 審査計画書一覧及び審査計画書
- 【動実 43-4】 写真・動画・情報公開承認申請書
- 【動実 43-5】 計画書審査範囲改訂案
- 【動実 43-6】 2019 年度 JAXA 動物実験関連スケジュール

議事概要

1. 前回議事録の確認

資料「前回議事録」に基づき、第 42 回委員会議事録の確認が行われた。

2. 前回審査結果フォローアップ状況

資料「第 42 回委員会フォローアップ一覧」に基づき、事務局から報告が行われ問題のないことが確認された。

3. 動物実験計画の審議

資料「審査計画書一覧」に基づき、「動物実験計画」について 1 件の審議が行われた。各々の実験の必要性、実験内容についての審査を実施した。各テーマに関する審査結果は別紙 1 の通り。

4. フライト実験結果速報及び写真・動画・情報公開承認

資料「写真・動画・情報公開承認申請書について」に基づき、提案者から報告が行われ、審議の案件については公開しても問題ないとして承認された。

5. 審査範囲

資料「計画書審査範囲改訂案について」に基づき、改定案について事務局から説明が行われた。委員会の審査対象範囲に関して確認がなされ、次回より適用することとした。

6. 2019 年度 JAXA 動物実験関連スケジュール

資料「2019 年度 JAXA 動物実験関連スケジュール」に基づき、スケジュールについて事務局から報告が行われた。10 月下旬に自己点検・施設点検を実施する。次回は 12/3(火)開催予定。

以上

第 43 回動物実験委員会審査結果一覧

審査番号	研究課題名	審査委員会	審査状況	条件/コメント
審 018-011D	JAXA マウス飼育ミッション (MHU-4) (審査対象範囲：宇宙実験)	第 43 回本委員会 (2019 年度)	適正	N. A.
審 018-036B -1	JAXA マウス飼育ミッション (MHU-5) (審査対象範囲：宇宙実験)	第 43 回本委員会 (2019 年度)	適正	N. A.
審 018-036B -2	JAXA マウス飼育ミッション (MHU-6) (審査対象範囲：宇宙実験)	第 43 回本委員会 (2019 年度)	適正	N. A.
審 019-010A	水棲生物実験テーマの実験支援	第 43 回本委員会 (2019 年度)	適正(コメントあり)※1)	・実験実施者の所属の明確化
審 019-011A	過重力負荷による生体影響評価試験(佐藤テーマ)	第 43 回本委員会 (2019 年度)	適正	N. A.
審 019-013A	黒尾テーマ宇宙実験に向けた手順検証試験	第 43 回本委員会 (2019 年度)	適正	N. A.
審 019-018A	微小重力の環境で老化が加速するメカニズムの研究 (MHU-5) (宇宙実験準備に係る NASA 射場実験手順 米国リハーサル)	第 43 回本委員会 (2019 年度)	適正	・変更届採番の誤記修正
審 019-020A	日本国内における小動物打上に向けた射場馴化飼育方法検討(筑波宇宙センター内での飼育)	第 43 回本委員会 (2019 年度)	適正	N. A.
審 019-024A	リン含有飼料長期負荷時の生体影響評価 (黒尾テーマ)	第 43 回本委員会 (2019 年度)	適正	N. A.
審 019-025	JAXA マウス飼育ミッション (MHU-5) における生存回収マウスの回収後処置手順確認	第 43 回本委員会 (2019 年度)	適正(コメントあり)※1)	・実験計画書の適用版の明確化
審 019-026	軌道上マウス遠隔解剖手技の地上検証	第 43 回本委員会 (2019 年度)	適正(コメントあり)※1)	・実験計画書の適用版の明確化
審 019-027	病原 T 細胞移入後の長期飼育データの取得 (FS 村上テーマ：重力刺激による脊髄背側血管への血管ゲート形成と分子発現の解析)	第 43 回本委員会 (2019 年度)	適正(コメントあり)※1)	・実験計画書の適用版の明確化

審 019-028	重力変化によるヒトオルガノイド拡大の宇宙実験に向けた地上予備実験	第 43 回本委員会 (2019 年度)	保留	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験動物の匹数の根拠の記載 ・ 苦痛のカテゴリーの修正 ・ 安楽死の方法について確認 ・ 実験計画書の適用版の明確化
-----------	----------------------------------	-------------------------	----	---

※1：コメント（申請書の記載修正）を申請者にフィードバックし、その対応について、後日、委員長及び委員に報告し適正と判断されている。